

この PDF は以下の書籍の II-1 「ジョアル」 (pp.9)を抜粋したものです。

長田俊樹 & Madhu Purti. 2022. 『ムンダ語 夏期言語研修ムンダ語教本』. 府中: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

## 1 ジョアル

### 例文

1. *joar.*
2. *joar, bes ge?*
3. *hee, bes ge. ape do?*
4. *ale-o bes ge.*

### 和訳

1. 「ジョアル」
2. 「ジョアル、元気？」
3. 「はい、元気です。あなたがたは？」
4. 「わたしたちも元気です」

### ムンダ人のあいさつ

ムンダ人はあいさつをだいにします。まず、知り合いに出会ったら、「ジョアル」とあいさつをします。そのとき、かならず両手を胸にあてて、軽く会釈をするように、身体を前かがみにしながら、「ジョアル」といいます。「ジョアル」をかわすときには、そのあとに、*bes ge* または *bugi ge* 「お元気ですか」とつづきます。そのあと、「はい、元気です」とこたえたら、*ape do* 「あなたたちは」とか、親しい人や自分よりも若い者に対しては *am do* 「おまえは」とか、村をたずねた場合などは *ne-sa<sup>o</sup>-ko do* 「こちらは」とか、聞き返し、その返事として、*ale-o bes ge* 「わたしたちも元気です」とか、*añ-o bes ge* 「わたしも元気です」とか、*ne-sa<sup>o</sup>-ko-o bes ge* 「こちらも元気です」とこたえて、一つのあいさつがおわります。あいさつが形骸化して、元気でもないのに、元気ですとこたえるケースを見かけることもありますが、たいていの場合、病気などの場合には、はっきりと元気ではないと言う方が多いように思います。また、人が亡くなったときなどは、このジョアルはかわしません。

その他、キリスト教徒ではあいさつがことなりますが、こうしたあいさつについては、以下にエッセイとしてまとめたことがあります。興味のある方はご覧ください。

長田俊樹（1992）「ムンダ人の挨拶考『アジア・アフリカ言語文化研究所通信』第76号:1-4頁＋33頁。